

「ある単位制高校の一年」(第4回)

宮原 清(九州・沖縄地区理事)

(ここまでの経緯は「ある単位制高校の1年」第1回～第3回をお読みください)

【式辞とキャリアパスポート】

単位制高校における「時間割づくり」は、「キャリアパスポート」と親和性が高い。

前回のおさらいをしたい。「時間割づくり」とは、単に一人ひとりの進路希望を聴いてづくり方を指導するのではなく、生徒のナラティブストーリーから自己概念形成、そして進路決断、時間割作成、学習の遂行にかかる学習カウンセリングに至るまで、一定程度の伴走をしながら支援するものである。つまり「時間割づくり」は「人生づくり」である。

完全単位制では自分だけの時間割をつくることは必須である。つまり、進路目標がある程度でも決まらなければ「時間割」をつくることができない。教師や学校が上から進路目標づくりを強制するものではないが、毎年度時間割をつくらなくてはならないという避けられない現実には毎年のキャリアイベントであり、彼らの発達を促す力となる。

[時間割作成を起点とする1年間の教育活動]

① 自己概念をつくる「自分づくり」

→体験や経験にもとづくストーリーから人生を振り返って自己概念をつくり、自分にとって大切な Must (欠かせないこと) を考える。

② 将来展望をつくる「人生づくり」

→「自己概念」をもとに将来展望を考え、Will (したいこと) をつくる。

③ 卒業までの学習計画と次年度の時間割をつくる「学びづくり」

→将来展望にあわせて、個人に合った最適な学習プランをつくる。

④ 実際に一年間かけて学ぶ「行動化」

→学習プランを実行し、Can (できること) を大きくしていく。

本校の完全単位制のシステムは上記①～④のプロセスを不可避とし、そのことがキャリア発達上、大変効果的なシステムになると考えている。

そして、このサイクルを有効に機能させるのに欠かせないものの一つが「キャリアパスポート」である。

生徒自身が、これまでを振り返り、これからの見通しをつくることの大切さを実感させるとともに、先生方にも強く意識してもらうため、「キャリアパスポート」に関して実践する

こととした。そのために活用したのが「式辞」という教育機会である。

単位制の本校は大学等と同様、2学期制を採用している。4月から9月までの前期、10月から3月までの後期に区分し、それぞれに始業式、終業式がある。今年は開課程初年度であるため、入学式の次は前期の終業式ということになる。

「式辞」は、全職員、全生徒に学校の方向付けを印象づける大切な教育機会であり、決して一般に言われる「式辞ネタ」で対応することはほとんど価値がないと考えている。「式辞」というきわめて印象的な機会を最大限活用すること、しかもその中身は決して押し付けではなく、主体的な思考や判断を促す動機にできると考えている。

そこで「キャリアパスポート」でいう中間ふりかえりの意味を含め、9月に実施した前期の終業式(新型コロナウイルス緊急事態措置中につきオンラインで実施)の式辞で生徒に3点の課題を提示した。

[前期終業式式辞から抜粋]

「終業式のあと、それぞれ約9分間の Youtube の動画をそれぞれ自分で接続して見てください。アドレスはシグフォーに掲載します。動画には1000人の歌声が入っています。静かなところで、テロップの歌詞を見ながら、耳を澄まして聴いてください。

【18祭】「正解」RADWIMPS と1000人の18歳、感動の歌声

<https://www.youtube.com/watch?v=xKjFYKWCDas>

動画を見たあと、3つの問いに答えてもらいます。

1点は、動画を見て「思ったことと、感じたこと」、そのまま思った通りに書いてください。

2点は、「入学前の自分と今の自分を比べて、あなたが成長したと思うところ」、自分でよく考えて書いてください。自分のどんなところが成長したか、家の人や友達にたずねてみてかまいません。

3点は、「なりたい自分、ありたい自分」についてです。将来どんな人間になりたいか、あなたの生き方、あなたの在り方を考えてかいてください。職業ではありません。あなたのあり方です。

以上3点についてよく考え、簡単でよいので書いてください。できるだけ静かな環境で動画をみて、じっくり考え、回答してください。

正解のある問いはもちろんたくさんあります。それもとても大切です。でも正解のない問

いもある。正解のない問い、それは、あなたの人生です。

フレックス型単位制は人生の幸せを考えるとこです。そのための大切なステップが時間割づくりです。いよいよ後期に入り、来年度の時間割づくりが始まります。後期に予定されている近未来ガイダンスや多くの将来を考える学校行事は、人生を考える大切な機会です。それらを積み上げた今年度最後の仕上げが来年度の時間割づくりです。」と述べた。

3 点の課題それぞれのねらいは次のとおりである。

1 点の NHK アーカイブスの動画「18 祭」を見て思ったことと感じたことのねらいは「意識を自己の内面と将来展望に焦点化させる」こと。

2 点の入学前の自分と今の自分を比べて成長したところのねらいは、「自己の成長を自覚させ、成長意欲を喚起する」こと。家の人や友達にたずねさせることのねらいは、「他者とのかわり方で自己概念構成を促す」と「他者の良さを見つけ合い共感的な人間関係をつくらせる」仕掛けでもあること。

3 点の「ありたい自分となりたい自分」のねらいは、「自己概念形成を促すとともにこれを将来展望につなぐ」こと。

生徒は 3 点の課題にオンラインで回答することし、それを受け、生徒全員にコメントバックを行った。コメントバックは一人ひとりの記載内容と返信をまとめた A4 サイズの用紙を利用した。この発想の起点はマーク・L・サビカスによるキャリアカウンセリング理論である。ねらいは、自己概念構成を促し、これを今後の成長意欲につなげることで一人ひとり個別に行う「時間割づくり」にいかすこと、さらには生徒の中に共感的な人間関係をつくらせることである。また、このプロセスを教職員に開示することでコミュニケーションモデルとして活用してもらうとともに、その後の教職員のカウンセリング活動に活かしてもらうこともねらいに含まれている。

コメントバックにあっては、①承認を基本とし自己肯定感を高めること、②心理的背景を想起しながらリフレーミングを行い、未発見の自己の価値に気付かせること、③書いた量がどんなに少ない生徒に対しても真摯にコメントし、自己に焦点化して生きる価値に気付かせること等に配慮して行った。以下、その事例を示す。

(生徒 A さんの場合)

「思ったことと感じたこと」

人の考え方や感じ方が違うのは正解が無いからだと改めて実感しました。

「入学前の自分と今の自分を比べて成長したところ」

あまり成長してないかなと思ってしまいます。積極的に少しはなったと思います。

「ありたい自分となりたい自分」

みんなに好かれる嫌われるとかは関係なく頼られる存在になりたいです。

[コメントバック]

正解がないことが人の考え方や感じ方の多様性につながっていると気づいたあなたは、物事の本質を見極める力を持っています。特に謙虚な人の場合、成長したかどうかは自分だけでは気づかないかも知れません。多くの他者との会話、深い会話があなたの自分を見出してくれるかも知れません。いろいろな人とかかわり、多様な価値に触れる高校生活にできたらよいですね。好かれるとか嫌われるとかではなく、頼られたいあなたの生き方は、生きづらさをかかえた多くの人のまきにお手本。立派な大人だと思いました。

(生徒Bさんの場合)

「思ったことと感じたこと」

歌詞の「制限時間はこれからのあなたのこれからの人生、回答用紙はあなたのこれからの人生」がとてもいいと思った。

「入学前の自分と今の自分を比べて成長したところ」

明るくなってこれまでより社会的になった。

「ありたい自分となりたい自分」

誰からも頼られて、信用される人。

[コメントバック]

制限時間はあなたのこれからの人生… これからのあなたの生き方を意欲的にする言葉。回答用紙はあなたのこれからの人生… 正解のなさはあなたらしさの追究を促す言葉。明るく社会的になったあなたは他者との関わりの喜びを理解したのだと思います。もちろん自分自身に自信がついたのでしょう。誰からも頼られ信用される人の姿は、その自信をさらに深めたところ、他者の価値を深く実感したところにあります。頑張ってください。

(生徒Cさんの場合)

「思ったことと感じたこと」

ひとつの曲でも色んな人の思いがこもっているんだなと思った。

「入学前の自分と今の自分を比べて成長したところ」

入学式前は自分の考えが甘かったりしたけど今はちゃんと考えれるようになった。

「ありたい自分となりたい自分」

春野サクラ（アニメ『NARUTO』に登場するヒロイン）みたいな純粹に人への思いを諦めない人になりたい。

[コメントバック]

歌声の中に様々な人の思いが詰まっていることに気づいたあなたは、相手の気持ちを想像したり思いやったりする力があるのだと思いました。自分の過去の甘さに自分で気づき自分で改められること、素晴らしい成長です。人の思いをあきらめないあなたの思いは、心から人が好きで人への思いにあふれていると思いました。

（生徒Dさんの場合）

「思ったことと感じたこと」

「正解」という歌を聴いて、なんだか泣けてきました。心に響いて、言葉には出来ないけど表すなら、「自分は何に悩んでたかが何となくパッと消えたような感じ」でした。正解をたどるせいでどこか見失うけど、正解を見つける度、新たな道に進むような感じでした。

「入学前の自分と今の自分を比べて成長したところ」

入学前の自分はまだ言葉遣いに慣れてなくて、どんな風に人と話せばいいかわからない自分だったと思います。それに比べて今の自分は友達が出来て、「キャリアデザイン」（個別に選択可能な学校設定教科で1年目は主にソーシャルスキルトレーニング）で学んだ事を思い出しながら、人との関わりを上手く出来てると思います。そんなところが成長したところだと感じます。

「ありたい自分となりたい自分」

どんな自分になりたいか、それは誰にでも優しく、みんなをサポートできるような自分になりたいです。あともうひとつなりたい自分があります。それは自然と共に生きる風のような自分になりたいです。

[コメントバック]

歌を聴いて泣けたあなた、心に響いたあなた、自分の悩みが消えた感じがしたあなたは、あなた自身がこれまで自分と必死に向き合ってきたということです。新たな道を見つけて進むことの楽しさや価値を実感していることがよくわかりました。人とのかわりをとて

大切に感じているあなたは、他者と関わることの価値を心底実感しているのだと思います。だからこそ誰にでも優しく周囲をサポートできる自分になりたいのだと思います。「自然とともに生きる風のような自分」そのニュアンスが知りたい！なんだか詳しく聴きたいです。いつか校長室に来て話してほしいと思います。

(生徒Eさんの場合)

「思ったことと感じたこと」

18歳は、社会にでて、いろんな面でできることができ、自分の責任となって自分の選択でいろいろなことが決まるので不安でも時は経つし、大人にはなるので頑張る18歳の人の思いが伝わりました。

「入学前の自分と今の自分を比べて成長したところ」

自分で行動して活発になった。

「ありたい自分となりたい自分」

自信を持っている自分になりたい。

[コメントバック]

18歳という人生の区切りを想像できるあなた、そのことを意識しながら歌う人たちの想いを受け止めたあなたはとても自立的で相手意識の深い人だと思いました。自分で行動して活発になれたあなたは、何か中学時代の自分をリセットして前に進んでいるのかもしれないと思いました。そんな自分の前進が自信を深めたいあなたにつながっていると思いました。

(生徒Fさんの場合)

「思ったことと感じたこと」

自分の人生の正解は最後の時にしか分からないから今を大事に正解だと思う道を自分で決めて進もうと思いました。

「入学前の自分と今の自分を比べて成長したところ」

入学前の自分は何かをやる前から出来ないかもしれないと諦めて逃げていたところがあったけど、今の自分は何となくやってみようと思えるようになって失敗したり時々成功したりして成長してきているなと思います。

「ありたい自分となりたい自分」

私は自分に自信を持って、やりたいことに全力で突き進むことが出来るような人になりたい

です。

[コメントバック]

「自分の人生の正解は最後の時にしか分からない」と思うあなた、まさにその通りだと思います。だからこそ今を大事に生きること、正解だと思う道を見つけることが大切です。物事への挑戦心が芽生えているあなたは成長意欲にあふれています。やりたいことに全力で突き進みたいあなたの人生への期待感は、持ち続ければ現実になります。

(生徒Gさんの場合)

「思ったことと感じたこと」

思ったことや感じたことは、「正解」という歌詞は所々共感できる所があり、周りの方達が涙を流しながらも歌っているのを見てなにか心にくるものがありました。これが私が感じたことです。

「入学前の自分と今の自分を比べて成長したところ」

心に余裕を持つことです。「入学前の自分」は学校で心に余裕を持つことがあまり出来ませんでした、けれど「今の自分」は学校の生活リズムなどが自分に合い心に余裕を持つことが出来るようになりました。

「ありたい自分となりたい自分」

自分は落ち着いて周りを見て物事を冷静に考えることが出来る自分になりたいと思っています。今の自分にはそれが出来ないなのでその目標に向かって頑張っています。

[コメントバック]

正解の歌詞から共感できる場所を見出し、歌う人たちの想いを実感したあなたは、自分とは違う他者の想いを感じ取れるアンテナをもっていると思いました。心に余裕が持てるようになったあなたは、そのこと自体に成長を感じ、大人を感じています。だからこそ落ち着いて物事を冷静に考えることに価値を感じているのだと思います。その憧れはなかなか素敵だなど純粋に私も思います。私自身そうありたい。あなたの話を聴きたいと思いました。

(生徒Hさんの場合)

「思ったことと感じたこと」

1000人の歌声がめちゃくちゃ綺麗で鳥肌が立ちました。お互いに知らない人もいたはずなのにこんなに息を合わせて楽しそうに歌えるのがすごいと思いました。すごく好きだったのでまた聴きたいと思います！

「入学前の自分と今の自分を比べて成長したところ」

入学前の自分は先生に質問することが出来ませんでした。なので苦手な問題とか分からないところとかをそのままにしてしまっていたところがありました。今の自分は、クラスが少人数というおかげもあり、先生に質問できるようになりました。その時に先生が自分の間違いも教えてくれるので、勉強しやすくなりました。成長したところは他にも少しありますが、1番成長できたなと思うところはこれだと思います。

「ありたい自分となりたい自分」

誰かを悲しませることがないような人になりたいです。

[コメントバック]

1000人の歌声に感動したあなた、一人ひとりの想いを想像しながらその価値を見出したあなたは、歌詞の意味はもちろん歌う人の想いを受け止めることができる心のアンテナをえています。先生に質問できなかつたあなた、人の気持ちを思いやり、つついそのままにしてしまっていたあなたは、しっかり自己表現ができるようになりました。人を悲しませることがないようにしたいあなたは、他者への愛情にあふれています。人の気持ちを感じられるアンテナは今の自分にしっかりと生かされています。

(生徒Iさんの場合)

「思ったことと感じたこと」

radwimpsさんの曲は好きで、よく、聴く機会がありました。何度も聴いても聴いても、考えさせられる歌詞に魅力を感じます。この「正解」にも、改めて考えさせられる歌詞が多くありました。「理屈に合わない事をどれだけやれるかが青春」と言う歌詞に心を打たれました。

「入学前の自分と今の自分を比べて成長したところ」

人とコミュニケーションを取ろうと、思えるようになりました。

「ありたい自分となりたい自分」

今の自分、過去の自分に後悔は、無かったと思えるようにありたいです。

[コメントバック]

考えさせられる歌詞と思うあなたは、言葉の意味や力を実感している人だと思います。「理屈に合わない事」は実は意味があつたりします。そのことを伝えてくれる歌詞の深さを感じるあなたの感性に打たれます。人とコミュニケーションをとろうと思えるようになったあなたは、他者との関わりの大切さを実感している人。さまざまな人生での経験や体験は何かし

ら意味があることを知っているあなたの人生はきっと幸せだと思います。

(生徒 J さんの場合) なかにはこんな生徒もいた。

「思ったことと感じたこと」 “ない”

「入学前の自分と今の自分を比べて成長したところ」 “ない”

「ありたい自分となりたい自分」 “ない”

以上、いずれも回答は「ない」であったが次のようにコメントした。

[コメントバック]

何も感じる事が無いと表現したあなた、成長したところがないと思うあなた、ありたい自分やなりたい自分がないあなた。そんなあなたは、高校で学ぶことの価値をまだ感じられていないのかも知れません。その価値を感じたときが学ぶとき。これからの人生でその価値が自覚できる時が必ずやってくると思います。その時を待ちたいと思います。

これらのコメントバックがキャリアパスポートのような機能をどの程度発揮したのか、その効果は定かではない。しかしながら、開課程後の後期となり、生徒指導上の諸問題は 12 月現在までほぼ皆無であり、学校は落ち着いた状態にある。

本校では 10 月以降、

【キャリアモデルによる動画配信】「西高キャリアチャンネル」

<https://www.youtube.com/channel/UC9Gyp7nONe6kAaaGNJfJxVg/videos>

現在 10 分余りの 13 の動画を公開配信している。そもそもコロナ禍でのキャリア教育を推進する目的で開始したもので、キャリアモデルと MC との対話から、物事の「見方考え方」と「あり方生き方」の視野を拡大する機会の提供を主なねらいとしている。

公開しているためどなたでも閲覧可能である。

【近未来ガイダンス】

10 月に実施したキャリアモデルとの対話事業である。この名称は以前筆者が福岡県立初の定時制単位制高校在任中に筆者が命名したものである。本校でもこの名称を継承し、地元出身者であるキャリアモデルを 20 名近く招聘し、終日かけて 2 講座以上を選択受講させて直接対話し視野を拓ける機会とした。

【与える者は与えられる】

長野県の上田情報ビジネス専門学校の副校長である比田井和孝先生を招聘し、地元の公

共のホールで全校生徒に対して文化講演会「与える者は与えられる」を実施した。

筆者と比田井先生との出会いは、彼是 20 年近く前になる。比田井先生のこの講演はもともと専門学校生徒向けの就職対策講座である。かつて私が進路指導主事をしていた高校にお呼びしてお話を拝聴したとき、こらえきれずに涙が止まらなかったこと、昨日のこのように思い出される。それから先生の講演は「就職対策講座」ではなく、「幸せに生きるための在り方講座」として赴任したすべての高校で講演会を実施してきた。その後 10 回以上先生の講演を拝聴したが、何度拝聴しても涙が止まらない。そこでの主な内容は次の通りである。

今年 11 月に本校で初めて、比田井先生に長野からお越しいただき、講演「与える者は与えられる」を実施した。彼の講演は単に感動するというものではなく、生徒の行動を明らかに変容させる。その主な内容は次の 4 点である。

- 人生の不幸とはだれからも必要とされないこと（マザー・テレサ）。
- 人生は自分の「思い通り」にはならない、「思った通り」になる。
- 求めることばかりを考える人（くれない族）は誰からも与えられないこと。
- 人に幸せを与えようとする人には、思わず幸福がやってくること。

この講演が生徒の心を動かすだけでなく、行動変容に結びつく理由を、筆者は、①意識を自己に焦点化させることと、②そのことで自分の人生が幸せになることを論拠をふまえてわかりやすく伝えているからと考えている。これが強く印象化されると生徒は自宅で愚痴をあまり言わなくなる。つまり保護者からのいわゆる「学校問い合わせ」もほぼ皆無になる。

校則のない本校は、人を育てることに全集中するしかない。そのことは結果として教育の本質に近づいていると実感している。

【フレックス型単位制が示す価値】

キャリアモデルとの現実的な対話は、いずれも発達を促す機会となった。

日頃の学習を含むこうした体験の積み重ねをもとに、教師や大人、友人との対話が鍵となり、具体的な行動へとつながるものと考えている。

「時間割づくり」を仮ゴールとする本校のシステムは、こうした経験を否応なしに「まとめる」時期がやってくる。つまり年度末は、自己概念を再構成するための大変貴重な時間となる。

【チームとしての職員集団】

現在のフレックス型単位制の職員集団はまさに最強である。教育職員も事務職員も新しい学校づくりに燃え、常に自己の最適行動を考え、常に建設的で最も効果的な教育活動を希求し、実行するチームとして完成した。そのチームリーダーとして奮闘する教頭先生の力も

絶大だ。これほどのチームに恵まれたことは、本校にとって歴史的幸運といってもよいほどである。自発的な彼らの動きは、そのほとんどを承認している。ダメ出しはほぼない。むしろファシリテートし油を注いでいるくらいである。ありがたく心地よく、働く価値を実感できる職場ができている。

これからフレックス型単位制では、個別の時間割の完成と高校入試の遂行という大仕事が待っている。それらを超えた来年度どうなっているか。その姿を追い求め続ける日々が続く。